

2021 年9月6日

第 73 回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)が主催する第 73 回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

当社は創業以来、生命保険事業を通じた社会課題解決への貢献とともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1934 年に「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない 1950 年に衛生環境が悪化する中、わが国の保健衛生向上のためにお役に立ちたいと、保健衛生の分野における立派な業績と長年にわたるご労苦に感謝と敬意を捧げるために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健など、その時代におけるさまざまな課題に取り組まれた方々を顕彰してきました。

第 73 回となる本年度は、2021 年2月1日から4月 15 日の期間に募集を行い、団体・個人合わせて 43 件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、団体9件、個人5名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数(今回を含む)は、712 団体、個人 367 名、合わせて 1,079 件にのぼります。

受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金(団体 200 万円、個人 100 万円)、朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団からは記念品が贈られます。

以上

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団

第73回保健文化賞受賞者一覧

(別紙)

受賞者名	都道府県	業績
特定非営利活動法人 3keys	東京都	虐待・育児放棄・貧困等で頼れる大人のいない子どもたちの支えとして、児童養護施設等での学習支援に始まり、孤立した子どもたち向けの相談事業や啓発事業を展開し、子どもたちの精神面を含めた課題解決に貢献している。
特定非営利活動法人 Fine	東京都	不妊当事者のさまざまな負担を軽減するために、不妊がより正しく社会全体に理解され、不妊に関わるすべてのことが、ごくありふれた普通のこととなるよう社会を変える活動に長年にわたり貢献している。
特定非営利活動法人 快適な排尿をめざす 全国ネットの会	京都府	排尿問題に悩む一人でも多くの方を救うため、多職種と連携し、地域医療のみならず全国の患者のための適切な医療の提供とともに、身近な排尿問題を年齢で諦めることのないよう、啓発活動に尽力し、QOLの向上に貢献している。
大阪府立大学大学院 看護学研究科 セクシュアリティ教育 プロジェクト	大阪府	保健医療・教育・福祉の専門家による多職種連携体制を構築し、長年にわたり4.3万人の高校生を対象に、出張性教育授業、講演、性教育の教材開発などを行い、思春期の子どもたちの心身の健康支援・福祉に貢献している。
(認定)特定非営利活動法人 プール・ボランティア	大阪府	障がい者が、障がいの程度に係わらずプールを楽しめるよう、長年にわたり工夫を重ね活動を継続し、専門家のみならず、一般ボランティアを多く受け入れ、市民プールで健常者と共に泳ぐことで、地域での理解の推進に貢献している。
特定非営利活動法人 アイルコート	香川県	主に重度の障がいを有する人に対して安心して過ごせる日中活動の場を提供するとともに、地域の福祉拠点として様々な活動を通し、助け合いながら明るい協働社会を創っていくことや未来を背負う子どもたちの健全な育成活動への参加の機会の提供に貢献している。
一般社団法人 長崎県薬剤師会	長崎県	医療資源が乏しい五島列島において、住民の医薬品の使用実態調査で判明した「薬剤師が存在しない」二次離島の現状に対して、定期的な「お薬説明・相談会」を実施し、住民の医薬品適正使用や健康増進の向上に貢献している。
一般社団法人 別府市医師会	大分県	ゆけむり医療ネットは地域医療・保健・福祉を連携する医療連携ネットワークで高度医療の理解と詳細な患者説明が可能となり疾病管理による重症化予防、重複した検査や処方の防止等、地域医療の効率化に貢献している。
特定非営利活動法人 メッシュ・サポート	沖縄県	島々で抱える医療過疎や医師の過重労働に関する問題解決のため、医療用航空機(ヘリコプター・飛行機)による患者搬送・医師派遣を通して、離島医療の問題改善に貢献している。
須藤 英毅	北海道	側弯症学校検診の確実な実施に向けた啓蒙活動と側弯症を早期に発見し支援に繋げていく環境整備を幅広く実施することで、重症化を予防する先制医療等による小児保健衛生の向上に貢献している。
金子 鮎子	東京都	長期に働くことが困難とされている精神障がい者を長年にわたり働く人として育成・雇用し、そのノウハウを発信して、雇用施策を促し、障がい者の働く権利の拡大を通して、就業による共生社会の実現に貢献している。
石渡 千代	神奈川県	地域の管理栄養士・国際薬膳師として活動し、食を通して人を幸せにするための活動を対象者の視点に立って、楽しんで取り組めるように工夫し、県市民の健康増進活動の推進に貢献している。
市川 恵子	神奈川県	母子保健に携わる事業に長きに尽力し、助産院・訪問看護ステーションを開設し母子への健康を守り、横浜市助産師会の会長・神奈川県助産師会副会長を歴任し、地域及び後輩の育成に貢献している。
比嘉 政昭	沖縄県	BCG接種の集団接種方式から個別化への移行にあたり市町村や医師会に対して研修や評価を行い、地域婦人会の活動を援助して結核予防の普及啓発に貢献している。